

第42回 意見交換会のご案内

放 生 会 の お 話

祇園放生会実行委員会代表でもある赤山禅院の高橋さまをお招きして、お話を伺います。

【日時】2018年**5月8日(火)**午後**1時30分**~3時

【場所】「登希代の2かい」(大和大路新橋通上ル東側)

【申込】申込は不要です。気楽にご参加ください。

祇園新橋を大切に思う皆さまのご参加お待ちしております！

取 組 とりあえず「伝建工事アンケート」、よろこんで「伝建工事アンケート」！

京都市より「伝統的建造物群保存地区」内の建造物に対して、「伝統的建造物群保存地区における建築物等の修理等の工事計画に関するアンケートについて」(長いので以下、「伝建工事アンケート」とします)が配布されております。

アンケートを提出しておけば、来年度の工事について補助金申請できますが、工事しなくてもキャンセル料等は発生しませんので、工事予定が決まっていなくても、

とりあえず、「伝建工事アンケート」を提出しておく

ことを、祇園新橋まちづくり部では強くオススメいたします！

とはいえ、アンケート提出には見積書やら図面やら、いろいろ必要となるなど、結構なハードルが設定されておりますので、施工業者が決まっていない場合は大変！そこで、祇園新橋まちづくり部が、

よろこんで、「伝建工事アンケート」のサポートいたします

まずは、お気軽にお問い合わせください(担当：富田090-1918-4249)

※まちづくり部では、工事自体のサポートはいたしかねますので、工事される場合の補助金申請は施工業者にご依頼くださいm(_ _)m

祇園新橋景観づくり協議会 総会

昨年度の活動を振り返り、今年度の方針を話し合います。

【日時】2018年**5月13日(日)**午前**11時**~12時

【場所】弥栄ふれあいサロン(漢字ミュージアム南側)

【申込】会員(通常総会議案をご案内の方)：出欠を事前にご連絡ください。
会員以外の方：傍聴席をご用意いたします。申込は不要です。

年度のはじまりとして、京都市の景観政策課を招いてまち歩きをおこないました。

地域の課題や現状を行政の担当者にも実際に目にしてもらう機会になり、また、参加者間でも建物や看板・ポスターなどに対する疑問について話をする機会ともなりました。

前撮り業者の撮影マナーの取組について、改善はないという声や、むしろ、腕章をつけているということで、悪くなったとの意見もありました。

海外からの観光客の増加について、お店の営業に影響はないお店から、利用客の7~8割が海外の方というお店まであるようです。

前撮り業者や海外観光客の増加という現状に対して、祇園新橋ではどのようにしていくか、将来像を考えていくことが大切だと思います。



4月10日(火)「登希代の2かい」にて。参加者は19名でした。

快晴の当日は、気持ちのいい散歩となり、観光客も多かったですが、それ以上に祇園新橋の良さを再確認できました(^)

【意見交換メモ】

■まち歩きの感想

- ・海外の人が多い。昼は中国人の家族連れ、夜は欧米人が多く、たむろしている。
- ・数年前から比べると、ここは日本かと疑問に思うような状況になった。
- ・国際化が進んでいる。やりたい放題になっている。日本人の京都離れにつながらないか心配。
- ・お客さんの7~8割は海外の方になっている。
- ・中国のお客さんも入ってくださる。
- ・海外の観光客の増加が、営業にプラスにもマイナスにもなっていない。
- ・京都市では産業としても観光が重要で、さらに活性化しようという方向だが、観光客が増えすぎて問題になるのは対策をとるようにしていく。宿泊税もその一つで景観にも一部予算配分する方向である。
- ・グループ旅行の一回が撮影しているのか、営業で撮っているか、集団が分かりにくい。
- ・事業者だと思って「腕章は？」と注意したが、「旅行者です」と答えられた。
- ・「業者じゃない」と言うが、いつも来ている人もいる。線引きが難しい。
- ・伝建地区の全国協議会で話したところ、贅沢な悩みだと一括された。先進的な取組をしている。こうして話した内容が広がっていったらと思う。
- ・カメラマンが撮っているところを撮影して、プレッシャーをようになっている。
- ・拝観料もいらないうところが、これだけ整っていて、世界に広まっている。
- ・祇園新橋は、中国語や英語の看板を増やすのは、ふさわしくない地域でもあると思う。
- ・コントロールしていくにはどうしたら良いのか…。ライオンズやロータリーなどの協力で、監視が出来れば…。祇園を守っているという立ち位置にたってもらったらよいのでは。

■桜シーズンを振り返って

- ・10日間交通規制をおこなったが特に問題はなかった。多い時で1時間に3000人強の通過があった。
- ・縄手通りの横断はガードマンを立てるより、みんなが譲り合って渡っていた様子。
- ・前撮り関係は、新聞報道などで追加の腕章発行に業者がくる。ちゃんとやっているところと、そうでないところの不公平感はどうしても生まれている。業者間の取組でも解決できれば。
- ・海外クルーをどうするかが課題。問い合わせもあるが、相手が日本語が出来ないと対応が難しい。
- ・腕章はしているが、名刺をもっていない人も多い。
- ・腕章のせいで業者に遠慮がなくなり注意しづらくなった。歩行者専用と桜の時期がずれて、撮影天国になっていた。

■伝建地区の補助金について

- ・Q：次年度工事希望アンケートには図面が必要？
A：図面かわりに写真だけでも大丈夫。市役所に以前の図面が残ってこともあり、お調べします。
- ・Q：今年の工事に申請はできないのか？
A：予算が残っていることもあるので、あきらめずに相談してほしい。台風被害などもまずは電話して。

■その他

- ・協議会の取組が全体プロセスの途中経過なら良いが、どこに向かっているのか、ゴールや全体のビジョンが見えていない。また、取組がいつ決まったのかとか、説明があったのか、物事が決まるプロセスや仕組みがわからない。